

# 前田くにひろ新聞

K U N I H I R O M A E D A



4月から文京区が  
変わります

## 施設のオープンラッシュ!

- ☑ 新福祉センター
- ☑ 新教育センター
- ☑ 保育園 5ヶ所
- ☑ 障害者施設
- ☑ ショートステイ

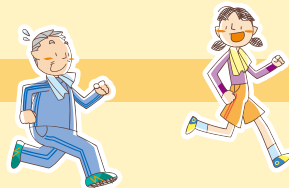


福祉で働く人がたくさん必要。  
量だけではなく、質も求められます。  
福祉人材の取り合いになります。

## 制度が変わります! 介護保険制度

### 1. 利用料の負担が増えます。

- ◎高額所得者は利用料が1割から倍の2割になります。
- ◎資産がある人は特養利用時の居住費の減免がなくなります。



### 2. 要支援者の利用できるサービスが変わります。

要支援者への訪問と通所サービスは、全国一律ではなくなり、サービス内容や利用料を自治体が決めます。自治体間で格差ができます。また、今までの専門職のサービスの他にボランティアの活用も制度化されました。要支援でも、認知症は初期ほど大変で専門職の関与が不可欠といわれますし、ボランティアの確保ができるのか、多くの課題があります。文京区は1年様子見をして、28年度から実施する予定ですが、区民の立場に立ち、利用者の目線でサービスの低下にならないように求めてまいります。(裏面「かいごの安心」参照)

### 3. 介護サービス事業者の経営が厳しくなる。

- ◎介護報酬が引き下げになり、経営が厳しくなる事業者がでます。

## 前田くにひろプロフィール

1965年向丘の「高尾寿司」長男として生まれる(現在49歳)。区立第一幼、誠之小、文京六中を卒業後、高校、大学と早稲田に学ぶ。法学部卒業。アルツハイマー病の母の介護をきっかけに、8年勤めた住宅・都市整備公団を退社後、1999年無所属新人として区議に当選。区内に初のグループホームの誘致など介護や子育てに関する福祉を充実させた。現在4期目。厚生委員会委員、災害対策調査特別委員会副委員長など。社会福祉士。

こんにちは。文京区議会議員の前田くにひろです。いつもご支援いただきありがとうございます。  
4月から、待望の教育センターや総合福祉センター、保育園の開設が行われ、一気に福祉サービスが充実しました。一方で、介護報酬の引き下げの影響により、福祉人材不足が深刻化しています。  
できた後のことにもしっかりと目を向け、地道に取り組んでまいりましたが、まだ道なかばです。  
福祉人材確保についての私の考えや今後の活動目標についてお伝えいたします。

## 文京区の介護報酬 引き下げの影響はどのようなの?

国は、介護事業者は儲かっていて(収支差額が大き)、内部留保が大きいからその分を引き下げたと主張。実態は、一律に儲かっているわけではなく、同じ特養でも規模や施設の内容によって収支の差が大きいとされます。また、内部留保も退職金の引当や将来の施設の改修等に充てられるものもあります。では、文京区ではどうなのでしょう? 情報公開で調べました。

<文京区の旧区立特養の収支>

	貯金	25年度収支	残高(単位百万円)
A	246	-39	207 (あと5年分*)
B	107	20	127
C	149	-37	112 (あと3年分*)
D	170	4	174

\* 残額を収支で割った数字で、年々収支は悪化しているのもっと早くから枯渇する可能性が高い。

## ショートステイにまつわるエピソード

地域福祉連絡会でケアマネージャーさんからの「ショートステイの予約が取りづらい」との言葉から

- |   |                     |  |
|---|---------------------|--|
| <p><b>課題</b> 文京区はショートステイが少ないことがわかりました。</p> <p><b>行動</b> 23区で一番少ないことを示し、整備を求めました。</p> <p><b>成果</b> ショートステイ 20床分(小石川)が3月開設!</p> | <p>一方、</p> <p>→</p> | <p><b>課題</b> 空き状況が分からず何ヵ所も連絡をしないといけない。</p> <p><b>行動</b> 他自治体の状況を調べ、その結果を施設長会に提案。</p> <p><b>成果</b> 区のホームページ上に空き状況等の表示が開始されます。</p> |
|---|---------------------|--|



### 新たな問題発生!

しかし、20床新設できましたが、職員確保ができずに、2ヶ所の特養で14床分休止中。実質6床分しか増えていない。働く人不足が2ヶ所ということは個別施設の問題ではない。

## 福祉人材確保対策

福祉で働く人の不足が深刻です。自治体間で取り合いも生じています。先進的な自治体の人材確保策をご紹介します。

- 品川区**
  - ◎要介護度が改善すると報奨金を交付する制度を試行しています。
  - ・報酬減への補填と良い介護をしたい現場のやる気を引き出す。
  - ◎品川区立の介護福祉専門学校を開校しています。
  - ・修学資金貸付制度もあり、140万円までOK。
  - ・区内の施設で3年以上働くこと返済免除になります。
  - ・また、働きながら社会福祉士をとれる養成コースも開講。(自分もここで社会福祉士をとりました。)

- 世田谷区**
  - ◎福祉人材育成研修センター
    - ・人材の発掘・就職支援(合同面接会・見学会など)
    - ・人材育成(入門から働きながらレベルアップ、区民向け研究発表)
    - ・介護サービス従業者対象相談(こころの悩み、仕事や労務管理について相談を受付)
  - ◎保育士に家賃を8.2万円を補助(大田区も)

現場の声を聞いて、解決策を一緒に考え、福祉で働く人を支援する仕組みと組織を文京区で立ち上げていきたいです。



# 私は次の5つの安心を柱に、地域の皆さまと区役所の間立つ者として、これからも尚一層、精進してまいります。



介護予防の推進&  
認知症対策の充実で

## かいごの安心

- 介護予防のための自主的な活動を行っている団体に対し、会場の確保や新規入会者の紹介など支援を拡充し、介護予防を広めていきます。
- 認知症ケアの切り札である小規模多機能型やグループホームの整備を公有地を活用して進めます。
- 行方不明認知症高齢者ゼロ推認では、都市部での特殊性を考慮し、区をまたいだ連携などより有効にしていきます。
- 要支援へのサービスが変更されることによる受け皿づくりのための担い手の養成を進めます。

支え合い&  
災害に強いまちづくりで

## いのちの安心

- 働きたいという意欲を引き出すためにも、シルバー人材センターの仕事を増やし、ニーズに合った育成を求めています。
- 区民の災害対応能力向上のため防災セミナーの開催や区内の防災関係団体が交流できる場作りを進めいざというときに支え合える連携をつくりまします。
- 多様性を受容するダイバシティへの配慮を進め、全ての人を包摂できる文京区にするため、区の教職員の意識を変える取り組みを行います。



くらしの安心を  
つくりまします。



## “おたがいさま”で 支え合う街づくり

地域密着型総合生活支援の仕組みづくり

防災・防犯・介護・生きがいづくり・子育て支援など生活を総合的に顔が見える地域(町会単位・学校区単位)で「おたがいさま」のところで住民同士で問題解決していく仕組みと組織を立ち上げていきます。

保育士の増員&  
子どもの居場所対策で

## すまいの安心



- 空き家を活用し、防災広場・防災資材の備蓄場所や地域の方が気軽に立ち寄れる居場所などを整備します。
- 低所得になっても文京区に住み続けられるように、公営住宅の新規供給や家賃補填などを求めています。



保育士の増員&  
子どもの居場所対策で

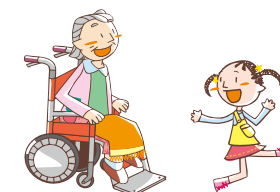
## 子育ての安心

- 子どもを地域で育てていくために、孤食を解消するための子ども食堂や無料学習支援、禁止事項をなくし自由な遊びができるプレーパークの整備など子どもの居場所の充実を行います。
- 保育で働く人が働きやすい環境をつくり、保育士を増やして、子どもを安心して預けられる場所を増やします。

バリアフリーのまちづくり&  
路上喫煙防止で

## どうろの安心

- バリアフリーの計画(基本構想)づくりが27年度からはじまるので、障害者や高齢者のみなさんと歩きやすいまちづくりを進めます。区全体を対象に、スパイラルアップ(漸次向上)していくように検討するように求めています。
- 駅前以外にも、一時利用制駐輪場の整備を進め放置自転車対策を進めます。シェアサイクリングの実現に取り組みます。
- 病院や学校周辺への路上喫煙禁止区域の指定を進めます。また、礪川公園の喫煙スペースの改善します。



## 前田くにひろ事務所

文京区弥生1-6-5(日本医科大学通り)  
「東大前駅」徒歩5分

これからの文京区のことや生活でのお困り事など  
どんな些細な事でもお話を伺うことができましたら幸いです。  
お近くをお通りの際には是非お立ち寄りください。

お問い合わせ

無所属(市民の広場・文京)  
前田くにひろ

070-5543-4035  
maedakunihiro@gmail.com  
www.maedakunihiro.com  
〒113-0023 文京区向丘2-13-14(自宅)

